



歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町792-6 ☎815-2010

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

うだるような暑さが続いています。皆さんは「睡眠」や「食事」はきちんととれていますか？ 夏はこれから本番で、まだまだ暑い日が続くようですから、くれぐれもお体ご自愛下さい。

さて、夏の暑さをますます強調させるものの1つに『蝉の声』があります。 エアコンの効いた涼しい部屋から表に出ると、熱気と一緒に飛び込んでくるあの鳴き声はとてもパワフルですね（苦笑） 夏の初めに鳴き始める「ニイニゼミ」や「ヒグラシ」、夏真っ盛りに鳴きはじめる「ミンミンゼミ」や「アブラゼミ」、そして「ツクツクボウシ」が鳴き始めると、いよいよ“秋”目前となりますが、実は日本には“30種類以上”もの蝉がいるそうです。かたや広いヨーロッパ全体では、蝉は数種類しか生息していないそうですから、もしかしたら日本は「セミ王国」なのかもしれませんね（笑） 蝉は種類によってエサである樹液の好みが違うらしく、日本では多くの植物が育つ環境にあるため、それが日本で種類が増えた大きな要因と考えられています。ところで、「蝉しぐれ」という言葉がありますが、降り注ぐ蝉の声を聴いていると、まるで目の前にいる蝉の全てが鳴いているように思えてしまいますが、実は鳴いているのは“オス”だけのようです。 オスは地上で生きているわずかな間、子孫を残すためにメスを探さなければなりませんので、自分の居場所をメスに知らせるために必死で鳴いているんだそうです。例えば「アブラゼミ」の場合、卵は翌年の夏に孵化して幼虫になり、それから約5年もの間、土の下で過ごします。そして、孵化から7年目にやっと成虫として地上に出てきて、かつ地上で過ごす期間はわずか10日間ほどですから、この短い期間の中で恋をしなければならぬのは大変なことですね（苦笑） さて、まだまだ続きそうな暑い毎日、虫や花などの変化に注目していると、季節の移り変わりを少しずつ感じられて楽しめるかもしれません。観察日誌などをつけると、規則正しい生活にもつながるのではないのでしょうか。

あなたも
“歯科通”
になれる...!?

歯医者が
出題する

“歯とお口”
のクイズ

歯みがきで欠かせないものといえば、もちろん“**歯ブラシ**”です。現在お店で販売されている歯ブラシは、実に様々なタイプのもので出回っているため、たくさんありすぎて、どれにしようか迷ってしまいますよね。ところで、皆さんの“**現在の歯ブラシの状態**”はいかがでしょうか？ 毛先が広がってしまったままになっていませんか？ さて、ここでこんな問題を出題！

Q. 歯ブラシの“**最適な交換時期**”は次のうちどれでしょう？

- 1 1年に1回
- 2 半年に1回
- 3 3ヶ月に1回
- 4 1ヶ月に1回

